第二期平塚・大磯・二宮ブロックごみ処理広域化実施計画進捗状況管理表【中間目標】

令和3年度	1.減量化の目標 （g以下）				2.資源化の目標 %（%以上）				3.最終処分量の削減目標 %（%以上）			
	設定目標	実績値	達成状況		設定目標	実績値	達成状況		設定目標	実績値	達成状況	
1市2町	847	838	A	101.1%	30.6%	26.5%	B	86.6%	7.7%	10.9%	A	141.6%
平塚市	849	831	A	102.2%	29.5%	25.5%	B	86.4%				
大磯町	869	917	B	94.8%	32.9%	28.5%	B	86.6%				
二宮町	798	821	B	97.2%	39.0%	34.1%	B	87.4%				

達成状況の指標　A：達成　B：99%から80%　C：79%から50%　D：50%未満

達成状況の補足

令和３年度において、１.減量化の目標が達成している要因を補足する。令和３年度においても続く、コロナ禍の経済活動の停滞により、平塚市の事業系一般廃棄物の発生量がコロナ禍前より大幅に減少している。そのため、発生量及び人口が多い平塚市が２町の実績を牽引し、１市２町における目標も達成した。一時的なものと推測されるため、翌年度以降は状況が変化している可能性がある。

令和4年度	1.減量化の目標 （g以下）				2.資源化の目標 %（%以上）				3.最終処分量の削減目標 %（%以上）			
	設定目標	実績値	達成状況		設定目標	実績値	達成状況		設定目標	実績値	達成状況	
1市2町	847	823	A	102.9%	30.6%	26.0%	B	85.0%	7.7%	54.0%	A	701.3%
平塚市	849	818	A	103.8%	29.5%	25.1%	B	85.1%				
大磯町	869	890	B	97.6%	32.9%	28.1%	B	85.4%				
二宮町	798	790	A	101.0%	39.0%	32.7%	B	83.8%				

達成状況の指標　A：達成　B：99%から80%　C：79%から50%　D：50%未満

達成状況の補足

令和４年度も１市２町の「減量化の目標」を達成したが、 コロナ禍における経済活動の停滞の影響を受け、事業系一般廃棄物の発生量が減少している可能性を考慮する必要がある。

KPI（重要業績評価指標）	基準値（平成30年度）	中間値（令和７年度）	令和３年度		令和４年度		令和５年度		令和６年度		令和７年度		目標値（令和12年度）
			実績	進捗率	実績	進捗率	実績	進捗率	実績	進捗率	実績	進捗率	
①、⑥家庭系ごみに含まれる可燃ごみの割合	66.66%	61.02%	66.85%	B	67.18%	B							57.41%
②、⑦事業系可燃ごみの排出量	21,575 t	20,925 t	19,561 t	A	20,218 t	A							20,925 t
③、⑧家庭系ごみに含まれる資源ごみの割合	26.61%	32.10%	26.39%	B	26.69%	B							35.35%
④、⑨事業系ごみの資源化量	2,244 t	2,500 t	1,745 t	C	1,749 t	C							2,700 t
⑤年間最終処分量	1,022 t	943 t	911 t	A	552 t	A							924 t
⑩適正な処理規模検討施設数	3 施設		―		―		―		―		―		5 施設
⑪適正な施設配置・運営検討施設数	3 施設		―		―		―		―		―		5 施設
⑫総排出量	101,252 t	95,457 t	96,932 t	B	94,964 t	A							90,225 t
⑬総資源化量	26,839 t	29,230 t	25,735 t	B	24,699 t	B							29,340 t
⑭処理及び維持管理費　（百万円）	3,167	3,804以下	3,103以下	A			⇐一般廃棄物実態調査結果を反映【令和６年４月以降】						3,804以下
⑮広域化による二酸化炭素排出量　（ｔ-CO2）	14,485	14,485以下	―		―		―		―				14,485以下

KPIの進捗率：A：達成　B：99%から80%　C：79%から50%　D：50%未満　　※令和４年度実績　⑭国の実態調査後確定、⑮中間改訂の委託にて実施予定

進捗率の補足　削減目標　①、⑥、②、⑦、⑤、⑫、⑮

進捗率の求め方　実績÷中間値（令和７年度）×100　※ただし、削減目標の場合マイナス分は表記せず、100%から余剰分を差引いたものが進捗率となる。